

9月の展示情報

芸術の秋、はじまります。

全戸配布

2025 9月号

芸術村かゆらばん

8/9(土)
~9/7(日)

阿部文香・鈴木竜一郎・野宮有姫

作品展 やまのめ

本展は、現代アーティスト・阿部文香さんによるインスタレーション作品を中心に構成され、この作品に呼応するかたちで、写真家・鈴木竜一郎と詩人・野宮有姫が参加。制作の過程や対話を通じて生まれた写真や詩を通じて、作品に新たな視点を重ねてゆく展示です。



阿部さんは、生物の水晶体をレンズとして用い、毛皮や西会津で採集した植物を素材に、独自の手法を用いて、写真をはじめとした視覚表現の実験を行っており、こうした試みがどのように作品に昇華されるのか、楽しみです。

開催中

~9/15(月・祝)

西会津国際芸術村・寄贈作品展

「青の夏」展

2024年3月に伊藤善創氏(西会津町野沢出身)から西会津町に寄贈された作品群の中から、涼やかな青をテーマにセレクトした寄贈作品展が開催中です。



寄贈された作品は、80点あまりあり、その中からシャガール、ピカソ、マチスなどの作品全15点が展示されています。青などの寒色系の色彩は、視覚的に涼しさを感じさせ、副交感神経を優位にし、リラックス効果があるとされています。世界的なアーティストの多彩な「青」にふれ、涼を感じる展示はいかがでしょうか。

開催中

~9/15(月・祝)

William Josh Beck 滞在制作作品展

聴く岩 Listening stones

7/4から約3週間滞在したWilliam Josh Beckさんの作品展示。本展示は、墨による抽象画「墨象」を用いたサウンドアートとビジュアルアートの交差点に位置するプロジェクト。



日本文化における石の重要性とその神聖な存在に着想を得て「石が聴いているもの」を明らかにするという発想のもと、石が置かれている環境の音を録音し、それを可視化する試みです。「見えるもの」ではなく、「聴こえるもの」を表現するアーティストが西会津で聴いた音をぜひ、鑑賞しにいらしてください。

第20回西会津国際芸術村 20公募展

展覧会 10/4(土)~31(金)
10:00~17:00 (最終日は15:00まで)



主催 西会津国際芸術村公募展実行委員会
共催 西会津町・西会津町教育委員会・NPO法人西会津国際芸術村・一般社団法人BOOT
協力 芸術村ボランティアグループ・フォトクラブどんぐり
にしあいつ絵画クラブ・画廊みゆーず・喜多市美術館・(有)昭文堂郡山店

9月の休館日

定例休館日(月)(火)

1(月)、2(火)

8(月)、9(火)

16(火)、22(月)

29(月)、30(火)

15(月・祝)、23(火・祝)
は休まず開館します。

開館時間：10:00-17:00

入館料：町民無料

*町外の方

大人300円 / 小人100円

未就学児は無料



野宮 有姫

東京都 / 福島県南相馬市在住

滞在期間：8/1~8/12

専門分野：詩

土地と記憶の交差点に立ち、詩・演劇・現代美術・民俗的リサーチを横断する表現を手がける。



鈴木竜一郎

静岡県御殿場市在住

滞在期間：8/1~8/13

専門分野：写真

近年はパフォーマンスアートにおける写真のふるまいに関心を持ち、共同制作の演劇作品の制作も行っている。



阿部 文香

静岡県御殿場市在住

滞在期間：7/27~8/20

専門分野：写真

ふとあらゆる事象が繋がり、ひとつの体系として体内に完全な世界が立ち上がるような刹那的瞬間のために実験し、作品制作をする。

本展示の作品に寄せた思いを語りました。西会津の黒米と山椒で作った甘酒のふるまいもあり、和やかで対話あふれる会となりました。

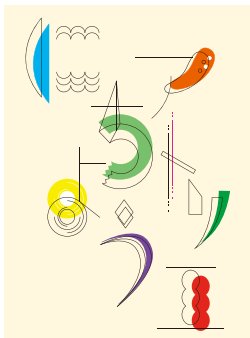
*展示会期9/7まで



8/9より開催している、3人のアーティストによる作品展「やまのめ」。

動物の水晶体を使って撮影された写真を植物の色素で焼き付けるといった作品を作り続ける阿部さん、その様子をパフォーミングアーツという視点を持って記録した鈴木さん、作品から生まれた言葉を紡いだ野宮さん。この3人で初めての共同制作となった

アーティスト滞在日記



“にちようアトリエ”は、「美術」を通じて
子供たちに創作・表現を楽しんでもらう場所。

9月のにちようアトリエは お休みします

8月のアトリエ

この夏は、通常の
アトリエはお休みし、
8月6、7日の二日
間、たっぷり時間を
使い『夏もアトリエ』
を開催しました。
作品は、絵から音
楽をイメージしたり、
音から絵を描いたり
しながら、抽象と具
象を組み合わせた深
みのあるものとなり
ました。



いつも使う絵の具も、まだまだ可能性が広がる使
い方を知り、よく観察して、しっかりと自分らしい
作品を創りあげた子どもたち。今回は県内外各地か
ら集まった子どもたちでしたが、あつという間に仲
良くなつて、一緒に笑ったりケンカしたりする様子
がなんともかわいらしく、頼もしさやたくましさも
感じました。

そして今回、小松慎吾さん、中澤ナオさん、谷川
和馬さん率いる『古今樂明座』のみなさんによる音
楽は、子ども達がさまざまな楽器に触れたり聴いた
りしながら、作品のイメージを膨らませる、大きな
助けとなったの
ではと思いま
す。



さて、今後の
予定ですが、芸
術村公募展準備
のため9月はお
やすみとさせて
いただきます。
次回は芸術の
秋、10月に美術
を楽しみましょう
う！



スタッフおすすめ 今月の本

しぐさの民俗学

著：常光徹 出版：ミネルヴァ書房



この本は、「じぶんカフェ」にて
お読みいただけます。

芸術村スタッフがオススメの本をご
紹介。なにげなく行うしぐさ。実はそ
の奥に呪術的な意味があるとした
ら・・・。
息を吹きかける、親指を隠す、ノッ
クやかけ声を二回繰り返すなど、ちよつ
とした日常にやっっている迷信ばいしぐ
さを、歴史に裏打ちされた民俗学的な
背景で考察しています。
昔、異界や魔物がもつと身近だった
時代には、日々何事もなく暮らすこと
は当たり前ではなく、暮らしの所作に
まじないの要素を織り込むことで、
祈りを込めていたのでしょうか。命を
繋いでくれた先祖の思いに触れるよう
な一冊です。



美味しいものや季節のコトとかいろいろ...

今年は、クマの目撃が相次いでいますね。私の実家の畑が
ある場所は、昔からクマの通り道だったようです。子どもの
頃は、スイカやとうもろこしなどが被害に遭わないように、
父がロケット花火で火薬の匂いを残したり、ラジオを一晩中
流したりという対策をしていました。しかし、最近では人間の
声を怖がらない熊がいたり、世代により変わってきてい
るようですね。



気候や環境に適応してい
く必要があるのは人間も同
じかもしれません。

写真は、今年も無事に収
穫できたスイカ。最近では
カットスイカにして冷蔵庫
に大量にいれてあります。

インスタ日記



8/11 に開催された、3 人の
アーティストによる作品展「や
まのめ」のオープニングイベ
ントでふるまわれた甘酒。

こちらは萱本の鈴木二三子
さんの黒米と山椒を使ったも
のです。甘酒を醸すときに、
山椒の葉も一緒に入れて仕込
んだのだとか。ほんのりと奥
に香る山椒の香りが夏の終わ
りに爽やかでした。

マワリテメクハ

季節の薬膳ノート

「きのこ」

今ではいつでもスーパーなどで購入することがで
きますが、きのこは秋の季節で、秋の味覚のひとつ
としてあげられます。「気」を補う食材として重要視
され、免疫力向上、疲労回復、整腸作用などが期待
されます。

こんな食べ方がオススメ

常備菜としても！

きのこのマリネ (4〜5人分)

【材料】しめじ・パック・えのき茸・パック・
椎茸 4〜5枚、A【塩小さじ1・こしょう
少々】 B【醤油大さじ1・酢大さじ2・オ
リーブオイル大さじ3・砂糖小さじ1/2】

「つくりかた」

1、キノコは、ほぐして食べやすい大きさにカット。耐熱ホ
ウルにいれて A の調味料で下味を付ける。

2、ボウルにラップをして、3分間レンジで加熱。加熱のム
ラをなくすため、上下を返してまぜる。

3、再度、ラップをして同様にレンジで加熱。

B の調味料を加えてサッと全体を混ぜ合わせたら完成。

*冷蔵で5〜6日、冷凍で1ヶ月保存できます



【HP】



【Instagram】



【Facebook】



【YouTube】



【お問い合わせ】 tel : 0241-47-3200

mail : niav.public@gmail.com

〒969-4622 西会津町新郷大字笹川上ノ原道上 5752